



鯉田工業団地工事議案ふたたび 10月20日に臨時議会

9月議会で否決になったばかり

失敗したら誰が責任をとるのか

市長「その頃には私も部長たちもいない」

タウンミーティング（8月28日、鯉田公民館）で、「リサーチパークのように土地が売れなかったら、誰がどう責任を取るのか」と問われて、「そのころには、私も部長たちもいない」と言い放ちました。

鯉田工業団地づくりをゴリ押し

軟弱地盤に25億5千万円をつぎ込む



● 浅所陥没想定区域が広がり、工事費の増大が心配される1工区

提出議案は、鯉田工業団地づくりの工事契約議案2件（1工区、2工区）です。9月議会で否決されたばかりです（賛成16対反対16で議長裁定）。いったん否決された議案を、そのまま臨時議会に提出するのは、不適切との批判が広がって

“**齊藤市長の強引なやり方**
背景に何があるのか”

齊藤市長は10月14日午後6時前、臨時議会を召集する告示を行いました。日程は10月20日（月）10時からです。

います。こんなやり方の背景に何があるのでしょうか。
ムダづかいを許さないために、市民が力を合わせるときではないでしょうか。

9月議会での態度

（敬称略）

（賛成）江口、芳野、八児、田中裕二、上野、鯉川、田中博文、安藤、人見、柴田、西、岡部、佐藤、藤本、東、木下
（反対）松本、川上、ゆい、秀村、原田、後藤、梶原、兼本、吉田、市場、瀬戸、永末、田中広文、道祖、永露、森山
（退席）藤浦

